

令和2年度 医学群  
教学 I R 実施報告書

## はじめに

令和2年度は新型コロナウイルス感染症により、医学群の教育も大きな影響を受けました。国際交流の停止から始まり、実習を含めた遠隔（オンライン）授業への転換が短時間に行われ、それに付随して Web 会議システムを使用した授業運用のあり方や ICT 環境が整わない学生への支援などの問題が出現しました。その後対面での授業が再開されるにつれて学生の感染管理や限られた医療資材（マスク・フェイスシールドやディスポーザブル術衣など）の教育への配分などの課題が立て続けに起こり、その都度対応が必要となりました。

その一方で教職員、学生の ICT スキルが急激に上昇し、今後の授業のあり方について検討する必要があるように感じています。

横浜市立大学医学部医学科においては、JACME による分野別認証評価を 2016 年 5 月に受審し、2018 年 4 月から 2024 年 3 月までの期間で認証を受けています。その中で、教学 IR 体制のさらなる整備とその体制を利用した継続的な医学教育プログラムの改良の仕組みの構築についての指摘があり、その後の医学科の改善状況の詳細については、毎年 JACME への報告と本学ホームページ上での公開を毎年行っている年次報告書に記載されています。昨年に引き続き、全学的な取り組みのもと、この報告書を作成する運びとなったことを幸甚に存じます。

なお医学群に所属する学生数は、医学科定員 90 名/学年、看護学科定員 110 名/学年と少なく、個人が特定されやすい状況を踏まえて、情報の一部について概要のみの公開となることをご容赦頂ければと考えております。

医学群教学 IR 検討ワーキング長

医学教育学 主任教授

稲森 正彦

## 1. 遠隔授業と対面授業について（医学科、看護学科）

<取組概要>

- 1 医学部授業の比率の確認（医学科、看護学科）
- 2 成績への影響（医学科）
- 3 学生の希望及び遠隔授業の影響など（医学科、看護学科）

上記の分析結果について、各種会議にて報告を行うとともに、結果を教授会等で報告・共有し、各学部におけるカリキュラム改善を支援した。

## 2. 授業時間数調整の影響について（医学科）

<取組概要>

- 1 留年者数への影響
- 2 成績への影響

上記の分析結果について、各種会議にて報告を行うとともに、結果を教授会等で報告・共有し、医学科におけるカリキュラム改善を支援した。

## 1. 遠隔授業と対面授業について（医学科、看護学科）

### （1）実施内容

昨年度に引き続き、医学群 IR にて収集している入試情報、学内成績情報、各種国家試験情報、進路情報などに基づいて、以下の検討を行った。

- 1 医学部授業の比率の確認（医学科、看護学科）
- 2 成績への影響（医学科）
- 3 学生の希望及び遠隔授業の影響など（医学科、看護学科）

### （2）解析及び検討状況

- 1 医学部授業の比率の確認（医学科、看護学科）

令和2年度はほとんどの授業が遠隔で行われたが、対面及びハイブリット型の授業の機会の拡大を目指して環境整備を行い、実習を中心に対面授業の割合が増加していることが確認された。

- 2 成績への影響（医学科）

本学において4年次に行う共用試験（CBT 及び OSCE）との関連性を調査した。年次推移を中心に確認したが、特に影響が認められなかった。

- 3 学生の希望及び遠隔授業の影響など（医学科、看護学科）

学生にアンケートを行い、その結果を確認した。遠隔授業の継続を望む学生が過半数を占めるが、低学年を中心に対面授業の要望が見られた。授業の理解度に関しては遠隔と対面について同等という評価が半数であった。遠隔授業等による心身への負の影響を感じる学生が一部みられる一方で、調子が良いという意見も散見された。

### （3）分析結果の報告

上記の分析結果について、以下の各種会議にて報告を行うとともに、結果を各学部教授会での報告・共有し、各学部におけるカリキュラム改善を支援した。

- 医学群 IR ワーキング
- 医学科教授会・医学部合同運営会議

### （4）添付資料

- ・ なし（本概要のみ公開）

## 2. 授業時間数調整の影響について（医学科）

### （1）実施内容

1 留年者数への影響

2 成績への影響

上記対策とそれに関わる背景因子や学修者の傾向を確認した。

### （2）解析及び検討状況

1 留年者数への影響

昨年度において留年者の数はその前年度と比して概ね半減し、今年度も同水準で維持された。さらに留年者を中心とした情報を集積し質的な検討を行った。

2 成績への影響

本学において4年次に行う共用試験（CBT 及び OSCE）との関連性を調査した。年次推移を中心に確認したが、特に影響が認められなかった。

### （3）分析結果の報告

上記の分析結果について、下記の各種会議にて報告を行うとともに、結果を医学部教授会での報告・共有し、医学部におけるカリキュラム改善を支援した。

○医学群 IR ワーキング

○医学科教授会・医学部合同運営会議

### （4）添付資料

- ・ なし（本概要のみ公開）